

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月9日

上場会社名 横河電機株式会社

上場取引所 東証一部

コード番号 6841

URL <http://www.yokogawa.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 海堀 周造

問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR室長 (氏名) 市瀬 裕介 TEL (0422) 52-5530

四半期報告書提出予定日 平成22年2月10日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績 (平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	219,168	△19.7	△2,749	—	△5,182	—	△18,203	—
21年3月期第3四半期	272,933	—	△766	—	△5,902	—	△37,171	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	△70.67	—
21年3月期第3四半期	△144.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	364,416	153,529	41.1	581.05
21年3月期	400,959	171,008	41.7	649.20

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 149,662百万円 21年3月期 167,224百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注1) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

(注2) 現時点では平成22年3月期の期末配当予想額は未定です。

3. 平成22年3月期の連結業績予想 (平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	316,000	△16.1	0	—	△4,000	—	△18,500	—	△71.82

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理および四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、7ページ「定性的情報・財務諸表等 4.その他」をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、7ページ「定性的情報・財務諸表等 4.その他」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 268,624,510株 21年3月期 268,624,510株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 11,050,333株 21年3月期 11,037,684株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)22年3月期第3四半期 257,583,534株 21年3月期第3四半期 257,480,296株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成21年11月10日に公表した通期の連結業績予想について本資料において修正しています。

2. 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係わる本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

(参考) 平成22年3月期第3四半期(3か月)の連結業績
(平成21年10月1日～平成21年12月31日)

(百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(3か月)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	68,512	△10.0	△368	—	△1,079	—	△3,668	—
21年3月期第3四半期	76,143	△13.6	△5,745	—	△10,305	—	△40,960	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	△14.24	—
21年3月期第3四半期	△159.02	—

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成21年4月1日～平成21年12月31日)における世界経済は、地域的な差はあるものの概ね最悪期を脱し、新興国を中心に景気回復の動きが見られました。設備投資については、中東、アフリカを中心とする資源国では、エネルギープラント建設プロジェクトの再開などの動きが見られましたが、設備投資全般としては日本、欧州、北米などの先進国を中心に依然低調に推移しました。

このような事業環境のもと、当社グループは、経営効率の向上及び固定費削減による損益分岐点の改善など企業体質の強化に重点的に取り組み、予想と比べ営業損失は縮小しましたが、前年同期との比較では売上高は減少、営業損失は拡大する結果となりました。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの連結売上高は、2,191億68百万円(前年同期比537億65百万円減)となりました。営業損失は、固定費の削減が当初計画以上に進んだものの、売上高の減少及び円高の影響により27億49百万円(前年同期比19億82百万円損失増)となりました。経常損失は、支払利息15億21百万円、及び為替差損5億6百万円等の営業外費用により51億82百万円(前年同期比7億20百万円損失減)となりました。四半期純損失は、主に投資有価証券評価損19億29百万円、及び固定資産の減損損失57億28百万円等の特別損失により182億3百万円(前年同期比189億67百万円損失減)となりました。

また、当第3四半期連結会計期間(平成21年10月1日～平成21年12月31日)における当社グループの連結経営成績は、売上高685億12百万円(前年同期比76億31百万円減)、営業損失3億68百万円(前年同期比53億76百万円損失減)、経常損失10億79百万円(前年同期比92億26百万円損失減)、四半期純損失36億68百万円(前年同期比372億92百万円損失減)となりました。

事業の種類別セグメントの概況は以下のとおりです。

なお、第1四半期連結会計期間から事業の種類別セグメントを変更しています。変更の内容については、「定性的情報・財務諸表等5.(5)セグメント情報」に記載のとおりです。前年同期比較は、変更後の区分に組み替えて行っています。

制御事業

制御事業は、中東、アフリカ、オーストラリアなどの市場で、新規エネルギープラントや電力・淡水化プラントの建設プロジェクトが着工されるなど回復の動きが見られましたが、欧州・北米などの先進国では需要は低迷しました。日本市場においては、設備稼働率の向上など一部に景気回復の動きが見られるものの、景気先行きの不透明感から、企業の設備投資抑制は継続し低調に推移しました。

当第3四半期連結累計期間における同事業の売上高は1,798億17百万円(前年同期比382億33百万円減)、営業利益は114億6百万円(前年同期比61億90百万円減)となりました。

また、当第3四半期連結会計期間における同事業の売上高は552億96百万円(前年同期比66億67百万円減)、営業利益は30億44百万円(前年同期比19億45百万円増)となりました。

計測機器事業

計測機器事業のうち半導体テストシステムの市場においては、メモリメーカーを中心に半導体生産設備に対する投資が再開されましたが、テストシステムの設備投資需要回復までは至りませんでした。また、測定器ビジネスの市場でも、国内外で省エネルギー関連の投資が拡大するなど回復の兆しが見られましたが、依然企業の設備投資への姿勢は慎重であり、需要は低迷しました。

当第3四半期連結累計期間における同事業の売上高は193億64百万円(前年同期比129億23百万円減)、営業損失は150億85百万円(前年同期比28億33百万円損失減)となりました。

また、当第3四半期連結会計期間における同事業の売上高は60億21百万円(前年同期比20億68百万円減)、営業損失は39億89百万円(前年同期比26億85百万円損失減)となりました。

その他事業

当第3四半期連結累計期間におけるその他事業の売上高は199億87百万円(前年同期比26億9百万円減)、営業利益は9億30百万円(前年同期は4億44百万円の営業損失)となりました。

また、当第3四半期連結会計期間における売上高は71億95百万円(前年同期比11億4百万円増)、営業利益は5億77百万円(前年同期は1億69百万円の営業損失)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の資産、負債及び純資産は、前連結会計年度末との比較において、以下のとおりとなりました。

当第3四半期連結会計期間末の総資産は3,644億16百万円となり、前連結会計年度末に比べ365億43百万円減少しました。現金及び預金が47億50百万円、受取手形及び売掛金が179億47百万円、その他流動資産が30億48百万円、有形固定資産が111億99百万円減少したことが主な要因です。

負債合計は2,108億86百万円となり、前連結会計年度末に比べ190億64百万円減少しました。支払手形及び買掛金が46億40百万円、賞与引当金が51億20百万円、未払金が54億2百万円、長期未払金が44億83百万円減少したことが主な要因です。

純資産は1,535億29百万円となり、前連結会計年度末に比べ174億78百万円減少しました。利益剰余金が201億36百万円減少したことが主な要因です。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、520億35百万円となり、前連結会計年度末に比べ47億98百万円、第2四半期連結会計期間末に比べ19億22百万円それぞれ減少しました。

当第3四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、減価償却費120億16百万円、減損損失57億28百万円、売上債権の減少245億41百万円等のプラス要因と、賞与引当金の減少51億60百万円、仕入債務の減少51億67百万円等のマイナス要因及び税金等調整前四半期純損失154億48百万円の結果、前年同期に比べ13億95百万円収入が減少し、160億59百万円の収入となりました。

当第3四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、設備投資を抑制した結果、前年同期に比べ104億38百万円支出が減少し、95億47百万円の支出となりました。

当第3四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、コマーシャルペーパー100億円の返済等により、115億92百万円の支出となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年11月10日に公表した平成22年3月期の通期連結業績予想を以下のとおり変更いたしました。

制御事業の市況が回復基調にある状況には変化がないものの、先進国の回復の遅れを背景に受注高が計画を下回ること、及び受注残のうち来年度以降の売上となるものの比率が増加したため、売上高見通しを50億円下方修正いたしました。

営業損失及び経常損失は、売上高の下方修正に伴う粗利減少が見込まれるものの、粗利率の改善及び費用の削減が計画以上にすすむ見通しとなったためそれぞれ25億円、また、当期純損失は15億円上方修正いたしました。

平成22年3月期通期連結業績予想数値の修正

(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	321,000	△2,500	△6,500	△20,000	△77.64
今回発表予想(B)	316,000	0	△4,000	△18,500	△71.82
増減額(B-A)	△5,000	2,500	2,500	1,500	5.82
増減率(%)	△1.6%	-	-	-	-
(ご参考) 前期実績 (平成21年3月期)	376,534	4,707	274	△38,446	△149.26

注) 連結業績見通しの為替レートは、1米ドル=90円、1ユーロ=130円を前提としています。

(参考資料)

①事業の種類別セグメント 受注高 予想 (単位：億円)

事業の種類別セグメント	通期		
	前回予想	修正予想	差異
制御事業	2,650	2,600	△50
計測機器事業	315	315	-
その他事業	285	285	-
合計	3,250	3,200	△50

②事業の種類別セグメント 売上高 予想 (単位：億円)

事業の種類別セグメント	通期		
	前回予想	修正予想	差異
制御事業	2,600	2,550	△50
計測機器事業	315	315	-
その他事業	295	295	-
合計	3,210	3,160	△50

③事業の種類別セグメント 営業利益 予想 (単位：億円)

事業の種類別セグメント	通期		
	前回予想	修正予想	差異
制御事業	145	170	25
計測機器事業	△185	△185	-
その他事業	15	15	-
合計	△25	0	25

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関して、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法を採用しています。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測及びタックス・プランニングを利用する方法によっています。

② 四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

完成工事高及び完成工事原価の計上基準の変更

請負工事に係る収益の計上基準については、従来、工事完成基準を適用していましたが、「工事契約に関する会計基準」（企業会計基準第15号 平成19年12月27日）及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日）を第1四半期連結会計期間より適用し、第1四半期連結会計期間に着手した工事契約から、当第3四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準（工事の進捗率の見積りは原価比例法）を、その他の工事については工事完成基準を適用しています。

これにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,231百万円増加し、営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失は、それぞれ466百万円減少しています。なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しています。

5. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	52,236	56,987
受取手形及び売掛金	92,440	110,387
有価証券	611	—
商品及び製品	19,803	20,842
仕掛品	13,171	11,583
原材料及び貯蔵品	11,616	12,281
その他	12,232	15,280
貸倒引当金	△3,005	△2,931
流動資産合計	199,106	224,431
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	53,458	57,405
その他（純額）	37,057	44,310
有形固定資産合計	90,515	101,715
無形固定資産		
投資その他の資産	29,673	29,713
投資有価証券	32,713	31,111
その他	13,070	14,568
貸倒引当金	△664	△580
投資その他の資産合計	45,120	45,099
固定資産合計	165,309	176,528
資産合計	364,416	400,959
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	24,245	28,886
短期借入金	34,706	12,686
未払法人税等	1,466	1,892
賞与引当金	3,720	8,841
未払金	9,254	14,657
その他	45,716	46,163
流動負債合計	119,111	113,126
固定負債		
長期借入金	80,096	101,597
退職給付引当金	3,210	3,192
長期未払金	4,944	9,427
その他	3,522	2,606
固定負債合計	91,775	116,824
負債合計	210,886	229,950

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	43,401	43,401
資本剰余金	50,344	50,345
利益剰余金	76,998	97,134
自己株式	△10,987	△10,978
株主資本合計	159,756	179,902
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,467	17
年金負債調整額	△372	△384
為替換算調整勘定	△12,189	△12,311
評価・換算差額等合計	△10,094	△12,678
少数株主持分	3,867	3,783
純資産合計	153,529	171,008
負債純資産合計	364,416	400,959

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	272,933	219,168
売上原価	182,268	148,043
売上総利益	90,665	71,124
販売費及び一般管理費	91,431	73,873
営業損失(△)	△766	△2,749
営業外収益		
受取利息	146	164
受取配当金	559	427
持分法による投資利益	526	399
その他	461	529
営業外収益合計	1,694	1,520
営業外費用		
支払利息	1,127	1,521
為替差損	3,809	506
その他	1,892	1,925
営業外費用合計	6,830	3,953
経常損失(△)	△5,902	△5,182
特別利益		
固定資産売却益	58	180
投資有価証券売却益	1,335	2
前期損益修正益	—	239
その他	198	150
特別利益合計	1,592	573
特別損失		
固定資産売却損	16	29
固定資産除却損	412	558
減損損失	485	5,728
投資有価証券評価損	3,992	1,929
事業再編損	—	498
事業構造改善費用	—	815
販売用ソフトウェア評価損	—	562
その他	1,273	716
特別損失合計	6,180	10,839
税金等調整前四半期純損失(△)	△10,490	△15,448
法人税、住民税及び事業税	2,045	2,187
法人税等調整額	24,203	349
法人税等合計	26,248	2,536
少数株主利益	431	218
四半期純損失(△)	△37,171	△18,203

(第3四半期連結会計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
売上高	76,143	68,512
売上原価	53,004	44,571
売上総利益	23,138	23,940
販売費及び一般管理費	28,884	24,309
営業損失(△)	△5,745	△368
営業外収益		
受取利息	55	51
受取配当金	100	76
持分法による投資利益	119	90
その他	93	152
営業外収益合計	368	370
営業外費用		
支払利息	383	499
為替差損	3,716	100
その他	828	481
営業外費用合計	4,928	1,081
経常損失(△)	△10,305	△1,079
特別利益		
固定資産売却益	36	163
投資有価証券売却益	—	2
前期損益修正益	135	12
その他	37	70
特別利益合計	209	249
特別損失		
固定資産売却損	2	28
固定資産除却損	147	136
減損損失	25	318
投資有価証券評価損	2,324	467
事業再編損	—	321
事業構造改善費用	—	193
前期損益修正損	—	462
その他	198	117
特別損失合計	2,698	2,046
税金等調整前四半期純損失(△)	△12,793	△2,876
法人税、住民税及び事業税	△114	766
法人税等調整額	28,320	14
法人税等合計	28,206	781
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△40	10
四半期純損失(△)	△40,960	△3,668

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△10,490	△15,448
減価償却費	15,773	12,016
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△404	133
賞与引当金の増減額(△は減少)	△10,252	△5,160
投資有価証券売却損益(△は益)	△1,335	△2
投資有価証券評価損益(△は益)	3,992	1,929
減損損失	—	5,728
売上債権の増減額(△は増加)	42,023	24,541
たな卸資産の増減額(△は増加)	△15,829	392
仕入債務の増減額(△は減少)	△4,383	△5,167
その他	965	△328
小計	20,059	18,633
利息及び配当金の受取額	1,788	1,558
利息の支払額	△846	△1,291
法人税等の支払額	△3,546	△2,840
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,455	16,059
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,724	△2,373
定期預金の払戻による収入	3,450	1,763
有形固定資産の取得による支出	△11,762	△3,958
有形固定資産の売却による収入	111	305
無形固定資産の取得による支出	△9,786	△6,198
投資有価証券の取得による支出	△2,477	△16
投資有価証券の売却及び償還による収入	2,327	9
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△775	—
事業譲渡による収入	1,011	32
その他	638	888
投資活動によるキャッシュ・フロー	△19,986	△9,547
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,678	△1,828
コマーシャル・ペーパーの増減額(△は減少)	△18,000	△10,000
長期借入れによる収入	26,000	2,603
配当金の支払額	△4,102	△2,063
その他	△684	△304
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,890	△11,592
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,870	150
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	488	△4,930
現金及び現金同等物の期首残高	30,209	56,833
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	131
現金及び現金同等物の四半期末残高	30,698	52,035

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報
〔事業の種類別セグメント情報〕

		前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)		当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)		対前年同期比 増減 (百万円)
		金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)	
制御事業	売上高	61,964		55,299		△6,665
	外部顧客に対する売上高	61,963	81.4	55,296	80.7	△6,667
	セグメント間の内部売上高	0		2		2
	営業費用	60,867		52,255		△8,612
	営業利益	1,098	—	3,044	—	1,945
計測機器事業	売上高	8,089		6,021		△2,068
	外部顧客に対する売上高	8,089	10.6	6,021	8.8	△2,068
	セグメント間の内部売上高	—		—		—
	営業費用	14,764		10,011		△4,753
	営業損失	△6,674	—	△3,989	—	2,685
その他事業	売上高	6,091		7,195		1,104
	外部顧客に対する売上高	6,091	8.0	7,195	10.5	1,104
	セグメント間の内部売上高	—		—		—
	営業費用	6,259		6,618		359
	営業利益又は営業損失	△169	—	577	—	746
消去又は全社	売上高	(0)		(2)		
	外部顧客に対する売上高	—		—		
	セグメント間の内部売上高	(0)		(2)		
	営業費用	(0)		(2)		
	営業利益	—		—		
連結	売上高	76,143		68,512		△7,631
	外部顧客に対する売上高	76,143	100.0	68,512	100.0	△7,631
	セグメント間の内部売上高	—		—		—
	営業費用	81,889		68,881		△13,008
	営業損失	△5,745	—	△368	—	5,376

		前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)		対前年同期比 増減 (百万円)
		金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)	
制御事業	売上高	218,067		179,820		△38,247
	外部顧客に対する売上高	218,050	79.9	179,817	82.0	△38,233
	セグメント間の内部売上高	16		2		△14
	営業費用	200,471		168,414		△32,057
	営業利益	17,596	—	11,406	—	△6,190
計測機器事業	売上高	32,287		19,364		△12,923
	外部顧客に対する売上高	32,287	11.8	19,364	8.9	△12,923
	セグメント間の内部売上高	—		—		—
	営業費用	50,206		34,449		△15,757
	営業損失	△17,918	—	△15,085	—	2,833
その他事業	売上高	22,596		19,987		△2,609
	外部顧客に対する売上高	22,596	8.3	19,987	9.1	△2,609
	セグメント間の内部売上高	—		—		—
	営業費用	23,040		19,057		△3,983
	営業利益又は営業損失	△444	—	930	—	1,374
消去又は全社	売上高	(16)		(2)		
	外部顧客に対する売上高	—		—		
	セグメント間の内部売上高	(16)		(2)		
	営業費用	(16)		(2)		
	営業利益	—		—		
連結	売上高	272,933		219,168		△53,765
	外部顧客に対する売上高	272,933	100.0	219,168	100.0	△53,765
	セグメント間の内部売上高	—		—		—
	営業費用	273,700		221,917		△51,783
	営業損失	△766	—	△2,749	—	△1,982

(注) 1. 事業区分の方法

事業区分の方法は、製品の系列、市場の類似性及び当社グループの損益集計区分を考慮し行っています。

2. これら事業区分に属する主要製品は次のとおりです。

事業区分	主要製品
制御事業	生産制御システム、流量計、差圧・圧力伝送器、プロセス分析計、プログラマブルコントローラ等
計測機器事業	半導体テストシステム、波形測定器、光通信関連測定器、信号発生器、電力・温度・圧力測定器、光通信モジュール及びサブシステム、共焦点スキャナ等
その他事業	航空機用計器、航海関連機器、気象・水文計測器等

3. 当社は、平成21年4月1日付で組織変更を行い、通信・測定器事業部、アドバンスト・ステージ事業部、ライフサイエンス事業部、フォトニクス事業部をひとつの組織に統合しました。

これにより、従来「新事業その他」に含めていた、アドバンスト・ステージビジネス、ライフサイエンスビジネス、フォトニクスビジネスについて、第1四半期連結会計期間より、事業区分を「計測機器事業」に含めています。これにより、従来「新事業その他」としていた名称を「その他事業」へと変更しました。

なお、上記のセグメント情報は、変更後の事業区分により記載しています。

4. 「定性的情報・財務諸表等 4. その他(3)」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より「工事契約に関する会計基準」(企業会計基準第15号 平成19年12月27日)及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日)を適用しています。この結果、従来の方法によった場合と比較して、当第3四半期連結累計期間の「制御事業」の売上高は1,231百万円、営業利益は466百万円それぞれ増加しています。

[所在地別セグメント情報]

		前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)		当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)		対前年同期比
		金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)	増減 (百万円)
日本	売上高	44,292		39,382		△4,909
	外部顧客に対する売上高	32,186	42.3	29,769	43.4	△2,416
	セグメント間の内部売上高	12,106		9,613		△2,492
	営業費用	52,272		43,541		△8,731
	営業損失	△7,980	—	△4,158	—	3,821
アジア	売上高	22,359		19,733		△2,626
	外部顧客に対する売上高	17,201	22.6	15,254	22.3	△1,947
	セグメント間の内部売上高	5,158		4,479		△678
	営業費用	21,134		17,767		△3,367
	営業利益	1,225	—	1,966	—	740
欧州	売上高	12,049		10,618		△1,430
	外部顧客に対する売上高	11,220	14.7	9,451	13.8	△1,769
	セグメント間の内部売上高	828		1,167		338
	営業費用	12,241		10,095		△2,145
	営業利益又は営業損失	△191	—	523	—	715
北米	売上高	6,762		5,740		△1,022
	外部顧客に対する売上高	6,611	8.7	5,390	7.9	△1,220
	セグメント間の内部売上高	151		349		197
	営業費用	6,680		5,653		△1,026
	営業利益	81	—	86	—	4
中東	売上高	3,768		3,880		112
	外部顧客に対する売上高	3,669	4.8	3,711	5.4	42
	セグメント間の内部売上高	99		168		69
	営業費用	3,368		3,202		△166
	営業利益	399	—	678	—	278
その他	売上高	5,314		4,980		△334
	外部顧客に対する売上高	5,254	6.9	4,934	7.2	△320
	セグメント間の内部売上高	60		46		△13
	営業費用	5,094		4,696		△398
	営業利益	220	—	284	—	64
消去又は は全社	売上高	(18,403)		(15,824)		
	外部顧客に対する売上高	—		—		
	セグメント間の内部売上高	(18,403)		(15,824)		
	営業費用	(18,902)		(16,074)		
	営業利益	498	—	250	—	
連結	売上高	76,143		68,512		△7,631
	外部顧客に対する売上高	76,143	100.0	68,512	100.0	△7,631
	セグメント間の内部売上高	—		—		—
	営業費用	81,889		68,881		△13,008
	営業損失	△5,745	—	△368	—	5,376

		前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)		対前年同期比
		金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)	増減 (百万円)
日本	売上高	167,218		130,319		△36,899
	外部顧客に対する売上高	125,430	46.0	100,052	45.7	△25,378
	セグメント間の内部売上高	41,787		30,266		△11,521
	営業費用	178,145		142,551		△35,594
	営業損失	△10,927	—	△12,231	—	△1,304
アジア	売上高	78,028		61,817		△16,210
	外部顧客に対する売上高	58,994	21.6	48,367	22.1	△10,626
	セグメント間の内部売上高	19,033		13,449		△5,584
	営業費用	72,834		56,541		△16,292
	営業利益	5,193	—	5,275	—	82
欧州	売上高	39,167		33,057		△6,109
	外部顧客に対する売上高	35,078	12.8	29,042	13.2	△6,036
	セグメント間の内部売上高	4,088		4,015		△72
	営業費用	37,995		31,757		△6,238
	営業利益	1,171	—	1,300	—	128
北米	売上高	23,425		16,644		△6,780
	外部顧客に対する売上高	22,681	8.3	15,717	7.2	△6,964
	セグメント間の内部売上高	743		926		183
	営業費用	22,997		17,095		△5,902
	営業利益又は営業損失	427	—	△451	—	△878
中東	売上高	13,020		11,823		△1,197
	外部顧客に対する売上高	12,525	4.6	11,289	5.1	△1,235
	セグメント間の内部売上高	495		533		38
	営業費用	11,156		9,843		△1,313
	営業利益	1,863	—	1,979	—	116
その他	売上高	18,375		14,808		△3,567
	外部顧客に対する売上高	18,222	6.7	14,698	6.7	△3,524
	セグメント間の内部売上高	153		110		△42
	営業費用	17,495		14,088		△3,406
	営業利益	880	—	720	—	△160
消去又は は全社	売上高	(66,301)		(49,303)		
	外部顧客に対する売上高	—		—		
	セグメント間の内部売上高	(66,301)		(49,303)		
	営業費用	(66,926)		(49,960)		
	営業利益	624	—	657	—	
連結	売上高	272,933		219,168		△53,765
	外部顧客に対する売上高	272,933	100.0	219,168	100.0	△53,765
	セグメント間の内部売上高	—		—		—
	営業費用	273,700		221,917		△51,783
	営業損失	△766	—	△2,749	—	△1,982

- (注) 1. 国又は地域は、地理的接近度により区分しています。
 2. 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりです。
 (1) アジア 中国、シンガポール、韓国、インド等
 (2) 欧州 オランダ、フランス、イギリス、ドイツ等
 (3) 北米 米国、カナダ
 (4) 中東 バーレーン、サウジアラビア等
 (5) その他 ロシア、ブラジル、オーストラリア等

3. 第1四半期連結会計期間より、重要性が増したため、中東を別掲記載しています。

なお、上記のセグメント情報は、変更後の区分により記載しています。

4. 「定性的情報・財務諸表等 4. その他(3)」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より「工事契約に関する会計基準」(企業会計基準第15号 平成19年12月27日)及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日)を適用しています。この結果、従来の方法によった場合と比較して、当第3四半期連結累計期間の日本の売上高は1,231百万円増加し、営業損失は466百万円減少しています。

[海外売上高]

	前第3四半期連結会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)		当第3半期連結会計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)		対前年同期比
	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)	増減金額 (百万円)
アジア	17,987	23.6	16,255	23.7	△1,731
欧州	8,001	10.5	8,080	11.8	79
北米	6,645	8.7	5,268	7.7	△1,377
中東	7,798	10.3	5,297	7.7	△2,501
その他	6,975	9.2	6,367	9.3	△608
海外売上高合計	47,408	62.3	41,269	60.2	△6,139
連結売上高	76,143	—	68,512	—	△7,631

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)		対前年同期比
	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)	増減金額 (百万円)
アジア	63,959	23.4	51,687	23.6	△12,272
欧州	28,430	10.4	24,927	11.4	△3,503
北米	22,299	8.2	15,204	6.9	△7,094
中東	22,666	8.3	17,800	8.1	△4,865
その他	23,909	8.8	19,702	9.0	△4,206
海外売上高合計	161,264	59.1	129,322	59.0	△31,942
連結売上高	272,933	—	219,168	—	△53,765

(注) 1. 国又は地域は、地理的接近度により区分しています。

2. 各区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりです。

- (1) アジア 中国、シンガポール、韓国、インド等
- (2) 欧州 オランダ、フランス、イギリス、ドイツ等
- (3) 北米 米国、カナダ
- (4) 中東 バーレーン、サウジアラビア等
- (5) その他 ロシア、ブラジル、オーストラリア等

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高です。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

平成22年2月9日
横河電機株式会社

平成22年3月期 第3四半期連結決算情報

(単位：百万円)

	H20/12		H21/12		対前年同期比	
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	売上高比
売上高	272,933	-	219,168	-	△53,765	-
営業利益	△766	△0.3%	△2,749	△1.3%	△1,982	△1.0%
経常利益	△5,902	△2.2%	△5,182	△2.4%	720	△0.2%
当期純利益	△37,171	△13.6%	△18,203	△8.3%	18,967	5.3%
総資産	378,042		364,416		△13,626	
純資産	171,812		153,529		△18,282	
自己資本当期純利益率	△19.1%		△11.5%		7.6%	
1株当たり当期純利益	△144.31円		△70.67円		73.64円	
1株当たり純資産	651.52円		581.05円		△70.47円	
設備投資	21,188		7,836		△13,352	
減価償却費	15,773		12,016		△3,757	
研究開発費	28,884		21,995		△6,889	
期中平均為替レート						
米ドル	102.48円		93.23円		△9.25円	
ユーロ	149.98円		133.01円		△16.97円	

第1四半期連結会計期間から事業の種類別セグメントを変更しています。

新セグメントにおける比較は以下のとおりです。

事業の種類別セグメント 受注高

(単位：百万円)

	H20/12	H21/12	H22/3 予想
制御事業	240,129	189,860	260,000
計測機器事業	35,495	20,891	31,500
その他事業	22,537	16,600	28,500
合計	298,161	227,351	320,000

事業の種類別セグメント 売上高

(単位：百万円)

	H20/12	H21/12	H22/3 予想
制御事業	218,050	179,817	255,000
計測機器事業	32,287	19,364	31,500
その他事業	22,596	19,987	29,500
合計	272,933	219,168	316,000

事業の種類別セグメント 営業利益

(単位：百万円)

	H20/12	H21/12	H22/3 予想
制御事業	17,596	11,406	17,000
計測機器事業	△17,918	△15,085	△18,500
その他事業	△444	930	1,500
合計	△766	△2,749	0

(ご参考) 旧セグメントにおける比較は以下のとおりです。

事業の種類別セグメント 受注高

(単位：百万円)

	H20/12	H21/12
制 御 事 業	240,129	189,860
計 測 機 器 事 業	27,210	18,125
新 事 業 そ の 他	30,822	19,366
合 計	298,161	227,351

事業の種類別セグメント 売上高

(単位：百万円)

	H20/12	H21/12
制 御 事 業	218,050	179,817
計 測 機 器 事 業	27,499	16,943
新 事 業 そ の 他	27,384	22,408
合 計	272,933	219,168

事業の種類別セグメント 営業利益

(単位：百万円)

	H20/12	H21/12
制 御 事 業	17,596	11,406
計 測 機 器 事 業	△9,391	△8,691
新 事 業 そ の 他	△8,971	△5,464
合 計	△766	△2,749